



不妊

治療は、子ども

をもちたいと願う夫婦の一つの選択肢に過ぎません。心身の負担と高額なお金をかけて不妊治療を行い、子どもを授からない夫婦もいます。

一方で、「結婚したら子どもをもつことが普通」「子育てしてこそ一人前」という価値観が普段の生活から感じ取られる場面も多くあります。このことが、子どもを授かりたくてもできない夫婦を苦しめている場合もあります。

不妊治療で子どもを授かる選択だけでなく、子どもがいなくてもより良い夫婦関係の家族をつくる選択、養子縁組で新しい家族関係をつくる選択など、夫婦が選んだ全ての選択を、温かく受け止め、支え、応援できる地域が求められています。そんな多様な生き方が受け入れられる地域となるよう、本市では、今後もさまざまな取り組みを通じて応援していきます。